

○自治体職員に向けた、インフラメンテナンスにおけるDXの活用。群馬県県土整備部及び経済産業部、静岡県建設政策課の取り組みを紹介した。
○また、相互に意見交換を実施することで、見えてくる期待感や課題などが、参加者にとってインフラDXの活用を試みる際に有効になったのではないかな。

＜日 時＞ 令和7年12月11日(木) 15時30分～16時30分

＜会 場＞ 東京ビッグサイト 東ホール

＜参加者＞ 自治体、民間企業、学生その他 約70名

＜カンファレンスプログラムの内容と流れ＞

群馬県県土整備部建設企画課

・群馬県県土整備プランDXアクションの取り組み

登壇者：政策・DX推進係 高田主幹

群馬県産業経済部未来投資・デジタル産業課

・全県リビングラボ構想の実現に向けて

登壇者：デジタル産業創出係 稲垣係長

静岡県交通基盤部政策管理局建設政策課

・静岡県が進めるインフラDX

登壇者：未来まちづくり室 百瀬課長代理

各登壇者からの取り組み紹介後

意見交換実施

司会・進行

関東フォーラム企画委員幹事 柳澤正和



会場からの質疑応答の様子

アンケートの主な回答について（計49名）

回答者属性：自治体関係者11名、民間企業32名、学生2名、その他4名

＜主な回答＞

○自治体関係者限定の回答より（11名）

群馬県・静岡県のようなDXを活用した
インフラ維持管理手法について

➡ 前向きに検討したい×4名、検討したいが
懸念がある×5名（費用・技術力・制度・人材等）

○今後、インフラ維持管理を行っていくうえでどういった視点が
必要と考えるか？

➡ 包括管理・群マネ、DXの推進、自治体同士の横連携、補助金の活用ほか

カンファレンスに参加した感想

あまりよくなかった
2%

参加して良かった
98%